

まんすりー 全旅連情報

2011.9
Vol.199

発行日●平成23年9月1日(毎月1回発行) 定価150円



水車小屋 長野県安曇野

今月の主な内容

- 平成23年度第1回全旅連合同委員会開催
- 放射能を正しく理解しよう! 対策セミナー開催

NEWS 平成23年度第1回全旅連合同委員会開催	1
放射能を正しく理解しよう!対策セミナー開催	4
第14回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	6
全旅連青年部広報室	7
省庁便り	8
訪日中国人旅行者向け動画完成(観光庁)／	
「東日本大震災関連情報」特設サイト開設中(中小企業庁)／	
ご存知ですか?「薬事法第24条」／	
平成23年度上期建築物防災週間(国土交通省)	
日本政策金融公庫事業者サポートマガジンの案内	9
全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス	10
都道府県組合等の情報	11
全旅連協定商社紹介	12
全旅連協定商社会 名簿	16



「宿ネット」イメージキャラクターの「ココよちゃん」です。
宿をイメージさせる姿に、頭の煙突からは宿の空室状
況を表す「○・△・×」の煙を出しています。

原稿・情報をお寄せください。

ユニークな経営、地域の活動などを行っている組合や
組合員の情報をお寄せください。

自薦・他薦を問いません。

その他、ご意見や提言などもお待ちしております。

投稿方法

●E-mail ●郵送 ●FAXにて(連絡先を明記してください。)

送り先

●E-mail: ajra@alpha.ocn.ne.jp

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全旅連事務局

Tel.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

まんすりー全旅連情報

発行日:平成23年9月1日(毎月1回発行)

定価:150円

発行人:清澤正人

印刷:山陽印刷株式会社

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789

「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

平成23年度第1回全旅連合同委員会開催

全旅連は平成23年度第1回合同委員会を8月8日、全旅連会議室で開いた。合同委員会は、他の委員会との連携を図りながら、知識と情報の共有化をもって戦略推進目標や戦術目標を各委員会が設定していく上でも重要となる全体会議で、第1回目は「事業」「政策」「総務」の各委員会が取組む重要事項が発表され、佐藤会長もまた、冒頭のあいさつの中で、全旅連が現在抱える解決すべき問題、そして挑戦すべき課題について語った(別掲)。

■全体会議

議事では、各委員会の平成23年度委員会活動計画が次のように説明された。

◇事業委員会

【主な取組事項】＝「ビジョン創造」への取組み：放射能や原子力に関する正しい知識と啓蒙(セミナーの開催、小冊子の作成など)、東京電力に対する風評被害に係る補償への対応、全国の観光地等における好事例の取組みの収集及び発信(地域活性化対策)、増加傾向にある訪日外国人旅行者への対応(インバウンド対策)。「環境推進」：水質汚濁防止法への対応、旅館ホテルにおける節電対策の推進(マニュアルの作成など)。EV充電器を扱う全旅連協定商社との連携及び充電器の普及促進、旅館ホテルにおける衛生上の安全管理の徹底(食中毒、ノロウイルス、レジオネラ属菌等対策)

◇政策委員会

【主な取組事項】＝「固定資産税の軽減」：税制大綱に上がった建物評価見直しの実現のための関係機関との交渉。「NHK受信料問題」：平成24年4月からの新3ヵ年計画策定に対するBBC方式採用の提言



佐藤会長は「NHK問題のほか固定資産税の見直し、消費税値上げに対する業界としての対応などの税制問題、さらに喫緊の課題として福島原発損害賠償請求やじゃらんnetのフェイスブックとの連携に対する全旅連としての対応など、解決を図らなくてはならない数多くの問題があるが、3委員会を柱に、鋭意取組んでいきたい」と述べた。



3委員会による合同会議とそれぞれに分かれて行なわれた委員会議



と要望活動の推進。「消費税問題」：消費税値上げ構想に対しての当面の間の現行税率の措置の要望と消費税値上げの際での外税方式導入の要望。

◇総務委員会

【主な取組事項】＝「財務関係」：増税下における外税表示の対応と徹底(組織内対応&エージェント対策)、安定的な財源確保をすすめる上での協定業者の確保と継続契約を計る上での対応と対策、また協定業者の提供内容の確認と組合員からの苦情に関する対処、NHK受信料の団体特約を活かした、チェーンホテル等の組合入会促進に向けた対応。「広報関係」：「宿ネット」、各種メーリングリスト等の管理運営、ネットエージェントのさまざまな施策に対する業界としての交渉、『まんすりー』の活用策～紙面内容の検討及び幅広い組合員に対する情報発信ツールとしての活用策の検討。

■福島原発損害賠償請求について

東京電力福島原発事故に伴う賠償で、政府の「原子力損害賠償紛争審査会」は、8月5日、「東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針」を発表した。この中で、風評被害について、「農林漁業・食



品産業」「観光業」「製造業・サービス業」「輸出」の4分野で賠償すべき損害と認められる一定の範囲の損害類型が示された。観光業については、福島県のほか、茨城県、栃木県、群馬県について、原発事故との因果関係が強いことが認められるとしている。また、外国人観光客の減少に伴う減収などは、日本全国を対象とする方針（5月末までの損害）が示されている。外国人観光客は事故前に予約が入っていた場合で、5月末までの通常の解約率を上回った分の損害を認めるとしている。

会議では「風評被害の実態が判明していないなかでの中間指針とも思えるものだ。救済の線引きでは現在の指針では不公平感が強く、さらに市場動向などの調査、分析を行い、改めて検討してもらいたい」という意見が多く、改めてきめ細かな検討作業を行ってもらい、4県以外でも原発事故との因果関係があれば賠償の対象となることを早急に明確化してもらいたいとしている。

中間指針を受けて、東京電力は、賠償額の算定基準などの詳細を詰め、近く請求の受け付けを行うとしているが、観光庁からは全旅連に対して賠償請求の取りまとめを行ってほしいとの要請も出されている。これについては、全旅連は、とりまとめの手順や調整方法などが明確にされていないところから、「とりまとめ」の窓口になるかどうかについては今後検討していくことになった。

また、会議では、全旅連など宿泊5団体が観光庁からの依頼で行った東日本大震災や福島原発事故についてのWeb調査（一般消費者が対象）の結果が発表された。

「東日本大震災以降の旅行意向に係る意識」で、旅行の中止・延期の原因として考えているものとしてあげたのは「福島原発事故」が最も多く、次いで「観光地

の被災」「余震への不安」「自粛」となっている。また、「福島原発事故による旅行意向に係る意識」の調査では、福島原発事故の国内旅行先への影響範囲は福島県を中心に8県（多い順から福島、宮城、茨城、岩手、山形、栃木、秋田、青森の各県）に影響が及んでいたとし、それぞれ過半数以上を占めている。

このほか、福島原発事故による放射能の影響については、今後の旅行先選定において「大いに考慮する（36.2%）」「少し考慮（38.0%）」を合わせて74.2%となっている。つづいて、福島原発事故による放射能の影響を今後の旅行先選定において「大いに考慮する」「少し考慮する」と回答した人が、今後放射能の影響を懸念して旅行先地域として避ける意向を示した地域は、福島県をはじめとして茨城県、宮城県、栃木県、岩手県と続いたほか広く東日本エリアでその影響が見られる。

■じゃらんnetのフェイスブックの連携に関する対応

旅行予約サイト「じゃらんnet」を運営するリクルートが加盟する旅館やホテルのフェイスブックを一方的に開設し、苦情が相次いでいる問題に対して全旅連としてどのように対応していくか検討された。フェイスブック（FB）は世界77カ国で使われている世界最大のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス＝人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト）。実名登録が原則で、最近では企業の販促手段などにも積極的に使われている。

リクルートは6月30日、じゃらんに掲載されている所在地や料金などの情報を基に、7月1日から各ホテルのFBの公式ページを無料で作成、公開するとファックスで施設側に一斉通知したが、同公式ページにはじゃらんサイトへのリンクが張られており、施設側から「施設が築いたブランドを使って閲覧者をじゃらんサイトに誘





事業委員会



政策委員会

導(宿泊施設側の公式FBページを訪れた見込み客をすべてじゃらんnetに誘導する仕組みとなっている)、利益(予約を受け付けた場合は報酬を支払う契約になっている)を得ようとしているものである」との批判が相次いで出ている問題。

「勝手に公式ページを作り、公開前日に突然通知するなどあまりにも一方的過ぎる」「通知のなかには、利用客囲い込みのための特典クーポンを導入するとしている。これはユーザーからは宿側が配布したようにみえるものだが、実は適用を受けるのはじゃらんnetで予約した人のみとなっているものだ」などの反発が起きている。

これに対し、リクルート側は「サービス開始に性急な点があった」とし、各施設のページについては「非公開」とするとした。

同問題については、全旅連広報小委員会が問題となる論点等に取り組んでいるほか、青年部が全国の宿泊施設を対象とした無料セミナー「緊急開催じゃらんnetと『Face book』連携で宿泊業界はどう対応すればいいの」を全国3カ所で開くなどしてリクルート側への要望内容の作成を進めているところから、全旅連としては改めて8月中旬に検討会を開き、8月中に全旅連としての見解をまとめていくことになった。※注

じゃらんnetについては昨年12月に手数料値上げと宿泊施設ホットペッパーポイント負担問題を起こしているが、今回もリクルート側の一方的な都合で行われているものだ。なお、同問題についてはリクルートと旅館ホテル施設との間で交わされた宿予約システム利用約款21条の問題(公式ページの作成まで合意を得ていたのかどうか)も浮上している。

※注 なお、リクルートに対し8月19日付で宿予約システム利用約款21条の解釈について抗議および改訂を求めた通知をした。



総務委員会

■各委員会会議

3委員会がそれぞれに分かれ、会議を行った。

平成23・24年度全旅連委員会委員名簿は次のとおり。

【事業委員会】＝委員長：野澤幸司(ホテル小柳)

◇環境推進小委員会＝小委員長：山本清蔵(旅館紅鮎) 委員：多田計介(ゆけむりの宿美湾荘)、委員：田村佳之(時わすれの宿 佳元) ◇ビジョン創造小委員会＝小委員長：岡本 厚(不死王閣)、委員：竹内順一(大洗ホテル)、井上善博(原鶴温泉 六峰館)

【政策委員会】＝委員長：工藤哲夫(ホテルかずさや)

◇金融対策小委員会＝小委員長：岩井美晴(奥城崎シーサイドホテル)、委員：小野誠(よろづや)、(1名補充予定) ◇税制対策小委員会＝小委員長：小関吉左衛門(仙峡の宿 銀山荘)、委員：森晃(旅館さかや)

【総務委員会】＝委員長：宮村耕資(ホテル南水)

◇財務小委員会＝小委員長：萩原忠和(老神観光ホテル観山荘)、委員：佐久間克文(芝大門ホテル)、委員：新山晃司(ホテル古湧園) ◇広報小委員会＝小委員長：永山久徳(ゆのごう美春閣)、委員：伊藤真司(磨洞温泉涼風荘)、(1名補充予定)

放射能を正しく理解しよう! 対策セミナー開催

全旅連事業委員会セミナー

放射能、原子力の基礎知識

全旅連事業委員会(野澤幸司委員長)は放射能に関する対策セミナーを8月2日、新潟県湯田上温泉「ホテル小柳」で開き、放射能、原子力について学んだ。講師の東電柏崎刈羽原発を抱える新潟県の熊倉健防災局原子力安全広報監は、放射能、原子力についての基礎知識などについて次のように述べた。

◇**放射線とは**電磁波や粒子線のことで、放射能とは「放射能を出す性質(能力)」のこと。また、この能力をもった物質のことを「放射性物質」という。このことを懐中電灯に例えると、光が放射線、懐中電灯が放射性物質、光を出す能力が放射能にあたる。受けた放射線の量によって、身体への影響は異なる。放射線を受けることによって人が受けた影響は「シーベルト」という単位で表される。また、放射能を表す単位でのベクレルとは、放射性物質が放射線を出す強さ、つまり放射性物質の量を表す単位。

◇**被ばくとは**透過性の放射線を受けること。放射線を体の外から受ける場合を外部被ばくといい、また、放射能物質を吸い込んだり、飲み込んだり、傷口から吸収した場合を内部被ばくという。放射線の人体への影響は、放射線を受けた人に影響が出る「身体的影響」と、放射線を受けた人のこどもや孫に影響が現れる「遺伝的影響」とに分けられる。

◇**身体的影響には**、放射線を受けて数週間以内に症状が出る「急性障害」と「胎児発生の障害」、そして、数カ月から数年後になって症状が出てくる「晩発障害」がある。急性障害は紅斑、脱毛、急性放射皮膚障害などが症状となる。胎児発生の障害は胎児が母体とともに被ばくした場合、胎内被ばくといい、その特徴は、胎児の細胞は分裂が盛んで感受性が高いため、母体に影響がないような少ない線量でも影響が現れる可能性があるということ。被ばく時期により、出生前死亡、奇形、発育障害、精神発達遅滞などが起こり得る。晩発障害はがんや白血病の発生などとなっている。こうした影響は受けた放射線の量と密接に関係する。そこで受けた放射線の量との関係でみると、放射線の影響は、確定的影響と確率的影響とに分けることができる。

◇**大地や食物や大気から**私たちは日常生活の中で、自然界から放射線を絶えず微量であるが浴び続けている。自然放射線は、今、1人が1年間に受けている量は、2.4ミリシーベルトといわれている。自然放射線の量は場所によっても変わってくる。日本全国を県単位でみても、最も高い岐阜県は1.19ミリシーベルト、神奈川県は、0.81ミリシーベルトと、1.5倍の差がある。身体の中の放射性物質は、食品を通じて身体の中に取り込まれる。主な放射性物質は、カリウム40、炭素14など数種類ある。最も多いカリウム40はいろいろな食品(干しこんぶ、干しいたけ、ポテトチップなど)に含まれているが、放射性物質が体内にたまっていく心配はない。放射性物質は、崩壊して少なくなっていくうえに、排出によって体外に出され、たまり続けることはない。

つまり、放射能には時間とともに減っていくという特徴がある。放射能の強さが、もとの半分になるまでの時間を半減期と呼んでいる。ナトリウム24は15.0時間、ラドン222は3.8日、ヨウ素131は8.0日となっているがストロンチウム90やセシウム137は30年となっている。

◇**放射線が人体に影響を与える境界線**の数値の目安は200ミリシーベルト(mSv)といわれている。確定的影響としては500mSvでリンパ球の減少、1000mSvで嘔吐、5000mSvで白内障・脱毛などの症状がみられ、そして7000mSv以上で全員死亡となる。

このあと、講演は「原子力発電所の仕組み」「福島原子力被害とその影響」「新潟県における放射能測定」「エネルギー・電力・原子力発電」についての説明が行われた。



▲あいさつする佐藤信幸会長(左)、セミナーの趣旨説明をする野澤幸司事業委員長(中)、講演する新潟県防災局原子力安全広報監 熊倉健氏(右)



長崎、チェルノブイリから福島を学ぶ

佐賀県旅館ホテル組合は、7月15日、嬉野温泉「和多屋別荘」において放射能を正しく理解するための特別講演会を開催した。講師は長崎大学の高村昇教授で、同教授はこれまでチェルノブイリを40回以上訪問され、治療活動と研究を続けられている。また、今回の福島原発事故後も、何度も現地入りし、正しい放射能の知識の啓蒙に努めてこられた。

放射能と放射線の違い

講演では、はじめに放射能と放射線の違いを説明。放射能はエネルギーのもとになるもので、この放射能を持った物質から出ているものが放射線。そして放射性物質が放射線を出す能力を表す単位が「ベクレル」で、放射線による人体への影響度合いを表す単位が「シーベルト」といわれる。

生物学的半減期とは

また、最近よく耳にするのが、ヨウ素とセシウムだが、ヨウ素は半減期が8日、8日で半分になるということは、2～3ヵ月後にはほぼなくなる。セシウムは半減期が30.4年だが、生物学的半減期というものがあり、体内に取り込まれた場合の半減期は、新陳代謝や排出により減るため、子どもで2～3ヵ月、大人で3～6ヶ月で半減する。この違いは筋肉の量によるそうだ。さらにセシウムは地面の表面に付着するので、土壌の表面を取り除くことで除染ができる。

外部被ばくと内部被ばく

被ばくには、外部被ばくと内部被ばくがあり、レントゲン検査や放射線治療が代表的な外部被ばくで、何らかの理由で放射線源が体内に取り込まれるときに起こるのが、内部被ばく。

自然界で人が1年間に浴びる放射線量は世界平均で2.4ミリシーベルト（宇宙から0.39、大地から0.48、食物から0.29、吸入により1.26）だが、世界には放射線量の高い地域があり、イランのラムザールでは100ミリシーベルト/年、インドのケララでは20ミリシーベルト/年となっている。

※文部科学省では今回の福島県内の学校等の利用判断における暫定的目安を年間20ミリシーベルトに設定しているが、これは1年間365日校庭に立ち、残りの16時間を同じ校庭の上の木造家屋で過ごすという現実的にはありえない安全側にたった仮説に基づいたもので、より現実的な児童の生活パターンに当てはめて試算すると年間に浴びる放射線量は年間20ミリシーベルトの半分以下と見込まれている。（文部科学省HP Q&Aより）

放射線の人体への影響

レントゲン検査での被ばく量は5～10ミリシーベルト、放射線治療では局所照射で20～100ミリシーベルトを浴びることになる。通常100ミリシーベルト以上を一度に浴びるとガン発生率が上がるという。但し100ミリシーベルトを一度に浴びると、通常300/1000人で見られるガンの発生率が305/1000程度に増えるといわれるが、これより低い場合には、ガン発生との因果関係は見られなかった。

長崎の原爆では200～1000ミリシーベルトの被ばくがあったと見られ、原爆投下後2～5年に若い人のなかで白血病を発症した人が多くいた。

チェルノブイリでは…

チェルノブイリの場合は、住民のパニックや機密漏えいを恐れる旧ソ連政府により、原発事故がすぐには公表されなかった。このため、付近住民の避難措置が遅れ、また放射能に汚染された乳製品などの食品に対する摂取制限がされなかったため、住民たちは大量に放射線を内部被ばくする結果となった。その後、事故発生から5年間で約16万人の子どもを追跡調査した結果、事故発生時10歳以下の子どもの中で、甲状腺がんの発生が見られた。チェルノブイリの場合は1000人に1人という高い割合で甲状腺がんが発生したという。このときセシウムも同様に放出されたが、セシウムによる疾患（白血病）は見られなかった。これは、ヨウ素とセシウムのエネルギーの差によるもので、ヨウ素は半減期が短い、これはより多くのエネルギーを短期間で使うということであり、セシウムは半減期が長いかわりにエネルギーは弱いからだという。

なお、チェルノブイリでは成人も検査しているが、男性20歳以上、女性30歳以上では、甲状腺がんの発生率に通常の場合との差異はなかった。事故発生当時に0歳～15歳の子どもたちがそのまま大きくなってガンを発症するケースは現在も散見される。

福島県では…

今回の福島第一原発事故で飛散した放射性物質はチェルノブイリのときと同様のものだが、福島県では、地震発生の3月11日には避難措置が取られ、また、食品についても厳重な摂取制限措置等が取られている。

最後に高村教授は、福島県の県民が謂れのない差別を受けることのないよう、放射能を正しく理解してほしいと講演を締めくくった。

第14回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

観光経済新聞社社長賞

千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合
千葉県菜の花女将会

『実践で学びましょう』盲導犬利用者・聴覚障害者・
車椅子利用者のお客様への心に響くおもてなし』

千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合の「千葉県菜の花女将会」(鈴木まり子会長)は平成22年7月に、同年10月に開催される全国障害者スポーツ大会(ゆめ半島千葉大会)に合わせて、バリアフリーを中心に宿泊者の目線に立ったおもてなしを考える勉強会(34人が参加)を行った。

館内の改装ではなく、盲導犬利用者・聴覚障害者・車椅子利用者への「心に響く」おもてなしについて学んだ。ホームセンターで売っているロープやブロック、合板を使用してのバリアフリー実現の講習を受けたあと、女将ら自らが車椅子でのスロープの登り下りを体験したほか、聴覚障害者とのわかりやすい筆記での会話、また、普段接することの少ない盲導犬の扱い方を「ジョジョ君」を介して勉強した。「宿泊施設は、障害を持つ人の受け入れに対し不安が先に立って尻込みしがちになるが、『気持ち』と『コミュニケーション』が大事であることを学んだ」と鈴木会長。また、勉強会の会場となった京成ホテルはバリアフリーに先駆的に取り組んでいるホテルで、勉強会のコーディネーターを努めた同館の秋元昭臣氏は「京成ホテルもお金をかけずにできることから始め、徐々に改善していった。勉強会で障害を持つ人とのつながりや、同じようなレベルからバリアフリーに取り組もうという女将さん仲間のネットワークができた」と女将会への期待感を語っている。



身近な材料で段差を無くす
ノウハウを学ぶ女将達



車いす操作の難しさを実体験

リクルート「じゃらん」賞

三朝温泉旅館協同組合

『三朝温泉“現代湯治”』

三朝町と三朝温泉旅館協同組合などが、地元の温泉治療で有名な2つの医療機関と連携し、低料金で長期滞在ができ、診察や温泉療法が受けられる“現代湯治”を開発し、商品化した。

世界有数のラジウム泉を誇る三朝温泉が提案する“現代湯治”は、温泉をとことん楽しみ、健康を見つめ直すという現代人に適した新しいスタイルの湯治である。

“現代湯治プラン”は2～5泊と長めに滞在し、総合病院で生活習慣病などをチェック。その人の状態に合わせた温泉療法を受けながら、自然あふれる三朝を散策したり、趣味などで気ままな時間を過ごすことによって自然治癒力を高めようという本格的な滞在プランだ。

宿泊については、湯治旅館から大型観光旅館まで様々なタイプの旅館(13軒)が低料金を提示し、利用客のニーズに対応している。旅館では医療機関への申込みを代行している。また、旅館には“ラヂムリエ”(ラジウムとソムリエの造語)と呼ぶ入浴指導員を配置し、入浴指南、泉質、効能や温泉街での過ごし方などをレクチャーするなどトータルにケアする。特に独自のパンフレットは作っていないが、今まで滞在を受けたことのない小規模旅館に連泊するお客も増えた。三朝温泉は今、『保養リゾート』としての顔をしっかりと印象づけた。



「鍼湿布」(左)と「熱気浴」(上)は
医療機関の指導のもとで施術される。





【全旅連青年部の ソーシャルネットワーキングサービス『yadomo!』】



かんはろう日本
かんはろう全旅連

yadomo!とは

yadomo!は全旅連青年部のソーシャルネットワーキングサービスです。2011年7月現在のメンバー数は825名、コミュニティ数は331です。大きな機能として日記、メッセージ、コミュニティ、あしあとなどがあります。

日記をアップする、他のメンバーの日記にコメントするとポイントが付き、ポイントがたまるとレギュラー⇒シルバー⇒ゴールドといったようにランクが上がるシステムになっていてメンバーの掲載意欲を高めています。

yadomo!で知り合い、コミュニケーションをとった青年部員同士が会議、懇親会などの席で会うことで親しくなりやすい環境ができたり、yadomo!で全旅連青年部出向への壁が無くなり初出向への足がかりとなるケースもあります。

コミュニティとは

コミュニティには宿泊業の現場で役立つ実践的なものから、息抜きになるような趣味の世界のものまで幅広くあります。コミュニティ例：Facebook、じゃらんnet、春と秋の大型連休の分散化、サイトコントロールシステム、健康一番倶楽部、親とガチンコ、詐欺など情報共有、音楽は心のビタミン、ド・ライダーなどがあります。

実践的な活用例として城崎温泉の旅館組合青年部では会議の出欠など、連絡ツールとしても上手に使っています。

yadomo!から リアルな行動へ

yadomo!でいち早く情報がコミュニティー内でまわり、じゃらんからの通知および担当者からの連絡の前に状況を把握することが出来た。



このようにyadomo!は現代のインターネット社会を象徴するツールであり、全旅連青年部の重要なコミュニケーションツールであるといえます。

全旅連青年部 広報委員会 黒岩透



観光庁

訪日中国人旅行者向け 動画完成

～日本の旅館の過ごし方～

観光庁では、訪日中国人旅行者向けに、旅館での過ごし方を説明した映像（DVD・Web配信用動画）を制作、DVDについては、国内の宿泊関係団体及び日本政府観光局（JNTO）等を通じて、訪日旅行を取り扱う中国の旅行会社等へ配布した。

これは、日本の魅力である旅館での宿泊における一般的な利用方法を知ってもらい、快適に滞在してもらうことを目的に制作したものだ。

映像（音声）は、北京語が使用され、字幕は、“簡体字”、“繁体字”、“日本語”の3種類から選ぶことができる。また、内容は「旅館の利用方法」編、「入浴マナー」編、「日本の食文化」編の3編構成となっており、全部で約19分。

観光庁では、このDVDを日本の空港へ到着してから宿泊先までのバスの中などで活用してもらうことを考えている。

Web配信用動画については、観光庁のホームページに掲載（下記URL参照）。

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000102.html

中小企業庁

「東日本大震災関連情報」 特設サイト開設中

中小企業庁ではホームページに「東日本大震災関連情報」特設サイトを開設、中小企業者向けの様々な情報を提供している。

直接、間接に震災の影響を受けた中小企業者の「相談窓口紹介」、「中小企業向け支援策ガイドブック」などのほかに、被災地の復旧・復興に貢献された中小企業の皆様方の取組についても公表されている。ここでは、東北地域の酒蔵支援のためキャンペーンを開催、東北の地酒を宿泊客に提供している皆生温泉旅館組合（鳥取県）や被災地で再起を図る旅館料理長を研修生として受け入れているホテル一畑（島根県）なども紹介されている。

<http://www.chusho.meti.go.jp/earthquake2011/index.html>

ご存知ですか？

「薬事法第24条」

皆様の旅館で、サービスの一環として「常備薬」を置き、お客様に提供していませんか？これは、薬事法違反です。

『**薬局開設者又は医薬品の販売業の許可を受けた者でなければ、業として、医薬品を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で貯蔵し、若しくは陳列（配慮することを含む。以下同じ。）してはならない…**』とされています。

販売目的ではなくても、お客様へのサービスの一環として薬を常備し、提供することは営業目的とみなされ、薬事法違反による罰則（3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金）の対象となりかねません。

自館のホームページ等で常備薬を置いていることを宣伝していませんか？薬事法違反となりますので、くれぐれもご注意ください。

国土交通省

平成23年度上期 建築物防災週間

実施期間

平成23年8月30日(火)～9月5日(月)

平成23年度上期の重点事項

- (1) 住宅・建築物の耐震診断・耐震改修の促進
- (2) 既存建築物に対する適正な維持保全と定期報告の徹底
- (3) 既存建築物の窓ガラスの地震対策等の調査及び是正指導の徹底

第3水曜日
配信

事業を営む皆さまの経営に役立つ情報が満載！！

事業者サポートマガジン

「事業者サポートマガジン」は、日本政策金融公庫 国民生活事業がお届けする「事業者向けメールマガジン配信サービス」です。事業を営む皆さまに、月1回、経営に役立つ情報や公庫からのお知らせをお届けします。

1 事業者サポートマガジンのコンテンツ

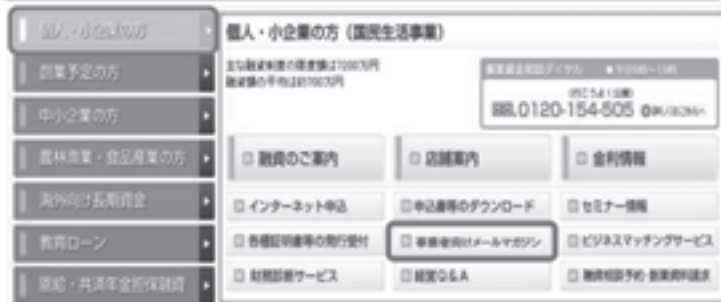
<p> 経営ノウハウ情報</p> <p>さまざまな分野の専門家による経営に役立つ情報をお届けします。</p>	<p>【配信イメージ】</p> <p>◇◇◇ 2011年6月27日</p> <p>◆日本公庫 事業者サポートマガジン◆ 今回の経営お役立ち情報： 消費者心理をマーケティングに活かす方法 発行：日本政策金融公庫 国民生活事業</p> <p>◇◇◇ ◇◇◇</p> <p>このたびは、日本政策金融公庫 国民生活事業の「事業者サポートマガジン」にご登録いただき、ありがとうございます。</p> <p>本メールマガジンは、事業を営む皆さまの経営などに役立つ情報をお届けするため、配信を開始しました。</p> <p>これから毎月1回（第3水曜日）にお届けしてまいりますので、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、第1回目に皆さまへお届けするのは・・・</p> <p style="text-align: center;">◆目次◆</p> <p>01 経営お役立ち情報 ～明日から使える経営Q&A～</p>
<p> 公庫の各種調査結果</p> <p>小企業や生活衛生関係営業の景気動向等調査など、公庫の各種調査結果をご紹介します。</p>	
<p> 公庫（国民生活事業）からのお知らせ</p> <p>各地域で開催されているセミナー・イベント情報や公庫の融資制度などをご案内します。</p>	

2 事業者サポートマガジンのご登録方法

登録無料

ご登録は、次のとおりアクセス！

- ① 日本公庫トップページ(<http://www.jfc.go.jp>)にアクセス
- ② 「個人・小企業の方」をクリック
- ③ 「事業者向けメールマガジン」をクリック



▲日本公庫ホームページトップページ



★事業者サポートマガジンのほか、次のサービスもお取り扱いしています★

ビジネスマッチングゲート

公庫HP上でのビジネスパートナー探しの場所をご提供します。

財務診断コーナー

決算書の財務データ入力で、主な財務指標の推移の確認や業界平均値との比較ができます。

SWOT分析

SWOT分析サービスにて、企業の強み・弱みなど分析し、ご提供します。

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

全旅連会議開催

[8月]

2日(火)

- 放射能に関する対策セミナー
(全旅連事業委員会主催)
於: ホテル小柳(新潟県湯田上温泉)

3日(水)

- 平成23年度都道府県観議連役員会

8日(月)

- 全旅連合同委員会
(事業委員会・政策委員会・総務委員会)

18日(木)

- 全旅連政策委員会
(金融対策小委員会、税制対策小委員会)
- 全旅連総務委員会(広報小委員会)

22日(月)

- 女性経営者の会役員会

26日(金)

- 都道府県観議連総会
於: ホテル花ゆづぎ(愛媛県道後温泉)

東北地方太平洋沖地震義援金

現在までに多くの方から東北地方太平洋沖地震義援金へのご協力をいただきました。

まことにありがとうございました。

旅館団体

大阪府泉佐野支部
大阪府福島旅館組合

個人・企業

株式会社第一興商
み奈美亭 南昭弘
株式会社松ヶ枝
藤井田鶴子
シティプラザ大阪
ホテルやま久

[敬称略] 7月21日以降8月19日現在

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

経営コンサルタント 渡邊 清一郎

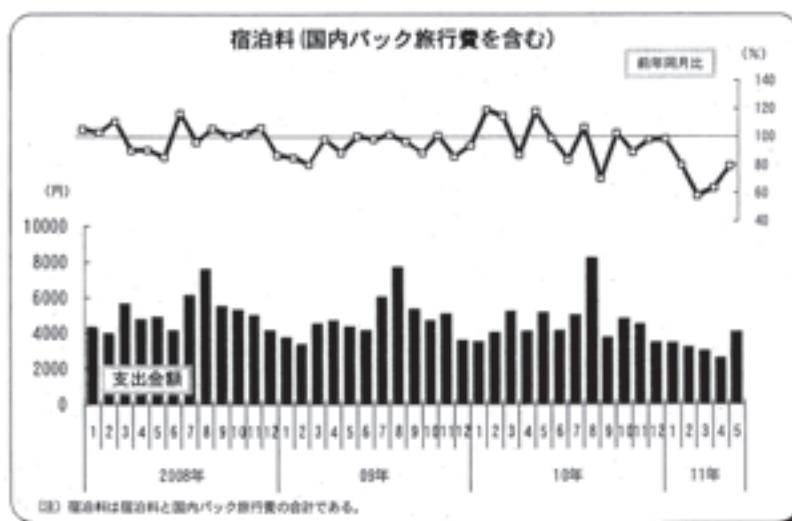
8月15日を前に思ったこと

仕事柄さまざまな経営者とお目にかかる機会を多く持てることは、私にとって幸せであり、かつ、ありがたいことだと思っています。老若男女を問わずお目にかかった方々を大別すると、事業の歴史、規模、好不調に関係なく二通りに分かれるようです。端的にいうと一方は、再会は「申し訳ありませんが・・・」と思う方(きっと相手もそう思っていると思いますが・・・)。もう一方は、ぜひもう一度会いたい、いやきっと会う機会がおとずれると強く思う方です。前者は、会社経営の成否が人生のすべて、もっと言えば利益(お金)こそ全てのタイプ。後者は、経営は人間としての生業を得るためのことにすぎず、やはりこの世に生まれてきた恩に報いるために生きていきたいもんだなというタイプ。たとえば、喜怒哀楽で分けるとすると、喜びや楽しみを目的とする人が前者。後者は怒りや哀しみと真摯に向き合い人生を深く清々しく生きている人です。地位や名誉などのレッテル(ブランド)にとらわれることなく金銭にもあまり頓着せず、国や社会や先祖の恩に報いたいと願い行動する人生を生き切りたいと思います。

質問・相談は
watanabe@yadonet.ne.jp
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

生活衛生関係営業関連の消費支出動向

総務省「家計調査」(二人以上の世帯)から



今号の表紙はNHK連続ドラマ「おひさま」の舞台、長野県安曇野にある水車小屋。写真の撮影、提供は、全旅連事業サービス(株)太田幸江氏。

これからの時代、多くの人々が“日本情緒”を求めるようになる。
風景やアート、そして温かいおもてなしを通して…

「門司港レトロおもてなしの宿の会」
〈福岡県〉

かつて国際貿易港として栄えた門司港は、当時の面影を偲ばせる古い街並みを残しているが、その街並みと新しい都市機能をうまくミックスさせた都市型観光地を目指し、「門司港レトロ」と名付けられた。地元・民間・行政が一体となって推進するため「門司港レトロ倶楽部」が平成7年12月に設立され、地元から9つの団体、民間からJR九州門司駅など17団体、そして、北九州市（産業経済局、教育委員会など）が構成団体となる。

こうして門司港は「門司港レトロ地区」として整備され、観光名所となったが、この地区を少し外れると、昭和中期にタイムスリップしたかのような“もうひとつのレトロ地区”が広がっている。ここに点在する老舗旅館に“異変”がおきた。「この貴重な日本情緒をなくしてはいけない」と結成されたのが「レトロおもてなしの宿の会」。門司港レトロ倶楽部の1団体でもある。6軒でスタートした宿の会はいま、11軒に増えた。全ての宿が暖かい門司港流のおもてなしで観光客を迎えている。そのひとつ、会長の土谷義一さん（門司旅館組合長）の経営する旅館・むつみ関門荘もまた“癒しの宿”で人気がある。冬はこたつをしつらえ、手作りのスイートポテトなどをふるまう。宿泊客はリピーターが多く、宿に泊まるのが目的という人も増えてきたという。

同宿の会では、現在、「大正浪漫100年祭宿泊プラン」の利用客には、特典満載の大正浪漫パスポートと記念品を進呈している。



三朝温泉で無声映画を上映
〈鳥取県〉

昔懐かしい風景やレトロな街並みが残り、観光にもぴったりの名所揃いの三朝温泉では、全国的に数少ない昭和初期の無声映画である「三朝小唄」を地元住民活弁士と音楽により見事によみがえらせた。



上映日時は7月16日、8月20日、平成24年1月21日、2月18日。上映時間は21:00～22:00。三朝温泉観光商工センターで上映している。入場料500円。

三朝小唄はマキノ・プロダクション作品。脚本・監督は人見吉之助。演出は岡島艶子ほか。

なお、鳥取県旅館ホテル組合のおかみの会の通常総会が7月6日、三朝温泉で行われたが、勉強会として三朝小唄の鑑賞会も行われた。

「カモシカ音泉蚤の市」には
“レトロ”との触れあいも 〈三重県〉

女将ならではの視点から、その地の魅力を伝えようと様々な企画を展開する“女将の会”は、今、全国各地の温泉街や旅館街で結成され、そのサービスは多くの観光客に愛されているが、三重県三重郡菰野町の湯の山温泉でも、そんな女将の会が元気に活躍中だ。

今年も初夏のイベントとして7月9日に行った第2回湯の山新緑祭「カモシカ音泉蚤の市」でも大勢の観光客を集めた。ライブあり、アート展示（廃旅館ギャラリーなどでも展示）、ライブペイントあり、古着・古本・手作り作品、乙女雑貨など盛り沢山の催しに加え、近隣旅館では浴衣の貸し出し、着付け、入浴手形の販売も行って祭りを盛り上げた。飲食店や雑貨屋などのお店ブースでは様々な“レトロ”にも触れられた。外国のレトロもの。中古家具や、中には手でフィルムをジージー巻く中古カメラなどもあり、レトロ好きにはときめきの蚤の市となった。